

# 日東紡グループ 個人投資家説明会

2022年12月3日

証券コード：3110

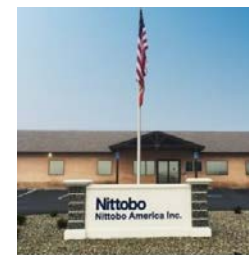
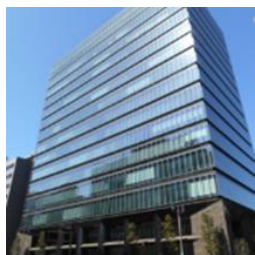


since 1923

**Nittobo**

- 日東紡グループの概要
- 日東紡グループが目指す姿『Big VISION 2030』  
& 中期経営計画（2021～2023年度）
- 日東紡グループのサステナビリティ経営
- 株主の皆様へ

# 日東紡グループの概要



## 経営理念

日東紡グループは「健康・快適な生活文化を創造する」企業集団として  
社会的存在価値を高め、豊かな社会の実現に貢献し続けます

- 取締役代表執行役社長：辻 裕一
- 創 立：1923年 4月〔創立99年目〕
- 本社所在地：福島県
- 売上高（2021年度）：841億円
- 営業利益（2021年度）：73億円
- 上場取引所：東証 プライム市場（ガラス・土石）

since 1923

まもなく100周年



「何でも繊維にしてみよう」  
のモットーでガラスを繊維化

1923 繊維メーカーとして日東紡績株式会社創立

1938 国内で初めてグラスファイバーの工業化に成功

1949 国内で初めてグラスウールの製造を開始

1969 プリント配線基板用ガラスクロス発売開始



1986 免疫系体外診断薬事業への参入

「次世代を担う化学は生物  
化学である」の考えにより  
体外診断薬に参入



## 暮らしと社会を支える 縁の下のチカラ持ち。

毎日使う身近なものから産業インフラまで、  
日東紡グループの製品は、街中の至るところで使用されています。  
生活をもっと便利にするために、  
安心をもっと強固にするために、  
日東紡グループの製品は、今日も見えないところで  
皆さまの暮らしと社会をチカラ強く支えています。

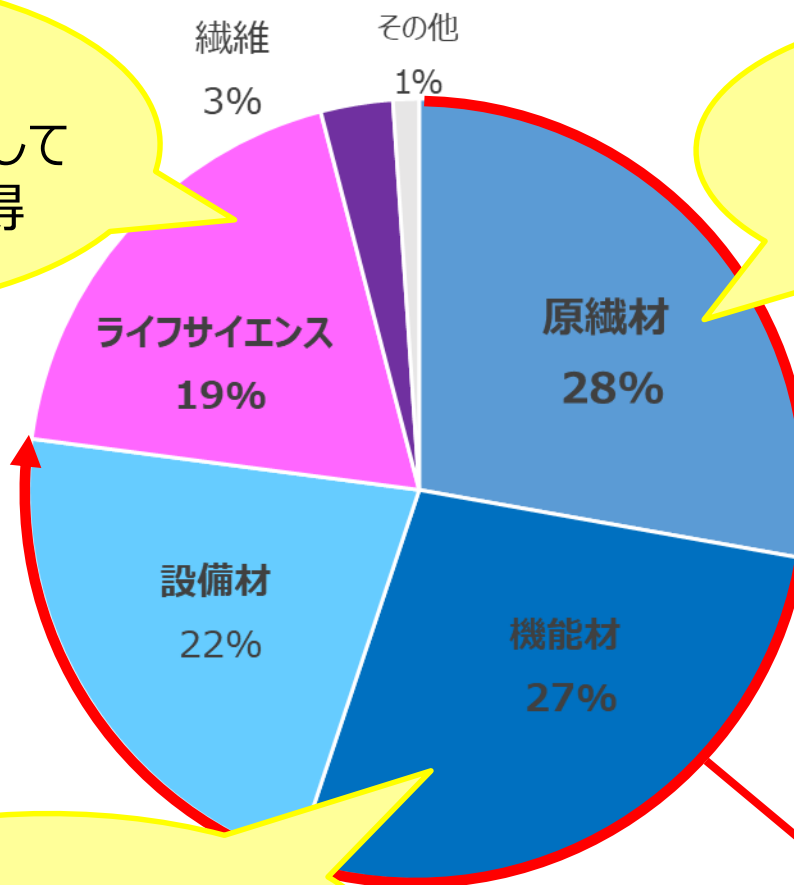
■ グラスファイバー事業 ■ ライフサイエンス事業 ■ 繊維事業



# 事業別売上構成比（2021年度）

メディカル事業  
**「免疫のニッポー」**として  
確固たる信頼を獲得

**世界最細レベル**  
のガラスファイバー



電子材料分野の  
高機能ガラスクロスで  
**グローバルNo.1**

ガラスファイバーが全体の約8割

特徴あるグラスファイバーを  
電子材料用途や強化プラスチック用途などに幅広く提供しています

## ガラスヤーン

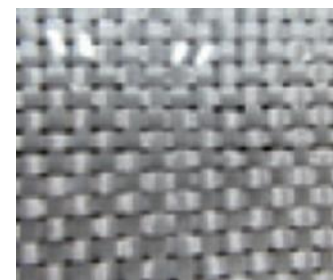


主な用途

電子材料⇒ 機能材事業

産業資材⇒ 設備材事業

ガラスクロス材料



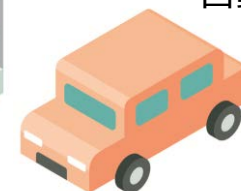
## 複合材用グラスファイバー



主な用途



住宅



自動車

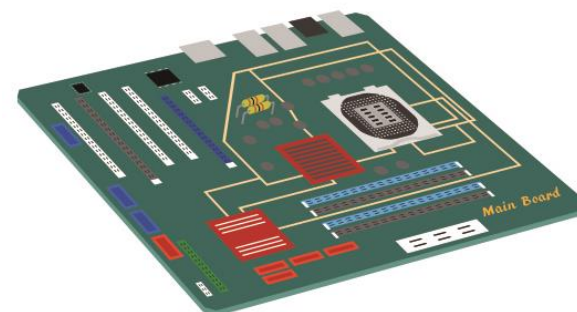


ガラスヤーンで織ったガラスクロスを、データセンター・基地局などのインフラからPC・スマートフォンに至る電子デバイスまで、幅広い電子材料用途に提供しています

## 電子材料用ガラスクロス



主な用途



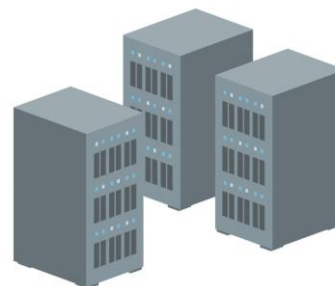
プリント配線基板  
(マザーボード、半導体パッケージ)



スマートフォン



基地局



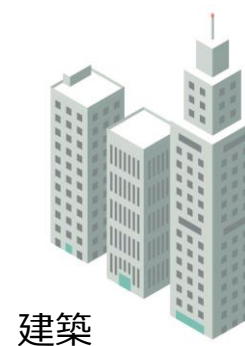
データセンター

## グラスファイバー・グラスウールを 産業資材用途・建設資材用途に提供しています

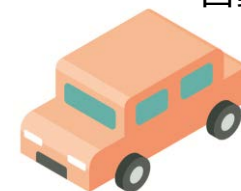
### 産業資材用グラスファイバー



主な用途



建築



自動車

### グラスウール



主な用途



住宅

- ◆断熱材として省エネに貢献
- ◆グラスウール製造原料の80%以上がリサイクルガラス

## メディカル事業

体外診断薬は健康診断や人間ドック、病院での  
受診の際に用いられる検査薬で医療・検査機関に提供しています



主な用途

医療機関

- ・診察
- ・健康診断
- ・人間ドック



## スペシャリティケミカルス事業

独自性の高い機能性ポリマーを幅広い用途に提供しています



主な用途

インクジェットプリンター助剤  
水処理剤  
製紙、金属加工助剤など

## 衣服のシルエットを整える接着芯地や ロングセラー商品「日東紡の新しいふきん®」を提供しています

### 接着芯地



主な用途



アパレル



### 日東紡の新しいふきん®

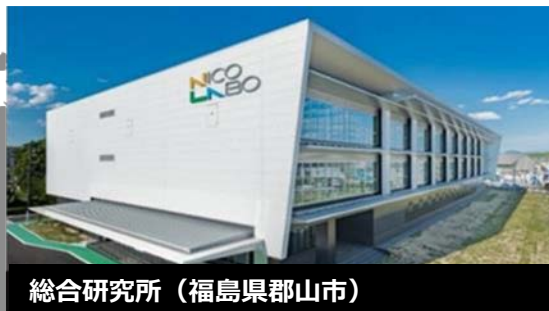


## 60年を超えて愛され続けるロングセラー商品

- ◆ 高い吸水性
- ◆ 滑らかな拭き心地
- ◆ 透明なガラスも毛羽がつかずに拭きあがる

 LONG LIFE DESIGN

# 日東紡グループの主な拠点



総合研究所（福島県郡山市）

**日本拠点**  
東京・福島・郡山・真岡

**米国拠点**  
カリフォルニア・アイオワ・メイン

**台湾拠点**  
嘉義・桃園



Nittobo Asia Glass Fiber, Taiwan



Nittobo America, California US

★ グラスファイバー事業

★ メディカル事業

**日東紡グループが目指す姿**  
**『Big VISION 2030』**  
**&**  
**中期経営計画**  
**(2021~2023年度)**

持続可能な社会の実現のために、  
「環境・エネルギー」、「デジタル化社会」、「健康・安心・安全」に貢献する  
**グローバル・ニッチNo.1**を創造し続ける企業グループ

デジタル化社会に  
貢献する  
製品・サービスの提供

環境・エネルギーに  
貢献する  
製品・サービスの提供

健康・安心・安全に  
貢献する  
製品・サービスの提供

すべてのステークホルダーから日東紡でよかった  
と思われる企業グループを目指す

市場の声を“聴き・捉え・フットワーク良く対応する”

**「高感度No.1企業」**

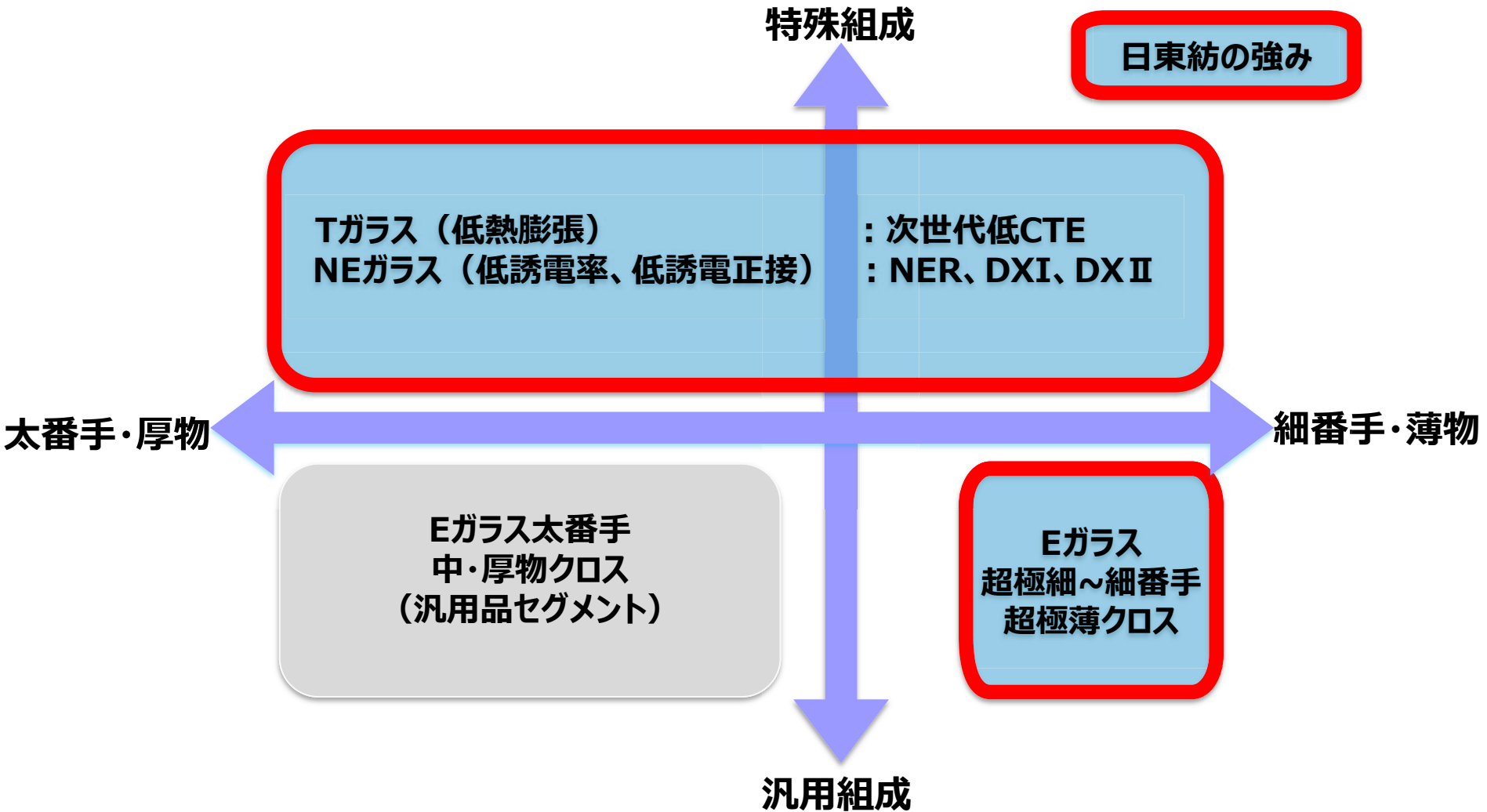
独自の技術を磨き鍛えマーケット・ニーズに  
マッチした商品を提供する

**「高付加価値商品No.1企業」**

	グラスファイバー	メディカル
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ スペシャルガラス 世界No.1</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 免疫系血漿タンパク診断薬 世界No.1</li> </ul>
対象市場	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 5G関連市場の拡大に伴うスペシャルガラス需要の増大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 新興国市場における体外診断薬需要の高まり</li> </ul>
強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ スペシャルガラスの開発・生産技術</li> <li>□ 世界最細・最薄の生産技術</li> <li>□ ヤーンからクロスの一貫生産体制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ グローバル・バリューチェーン (研究開発～原料生産～試薬製造・販売)</li> </ul>
成長戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 高付加価値製品の生産能力拡張</li> <li>□ 次世代新商品開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 既存市場への安定供給とグローバル市場開拓</li> <li>□ 生産能力拡張 (原料から試薬)</li> </ul>







- Eガラス超極細～細番手ヤーン、超極薄クロス及びT/NEガラスなどの高付加価値製品の生産能力増及び用途拡大に重点投資

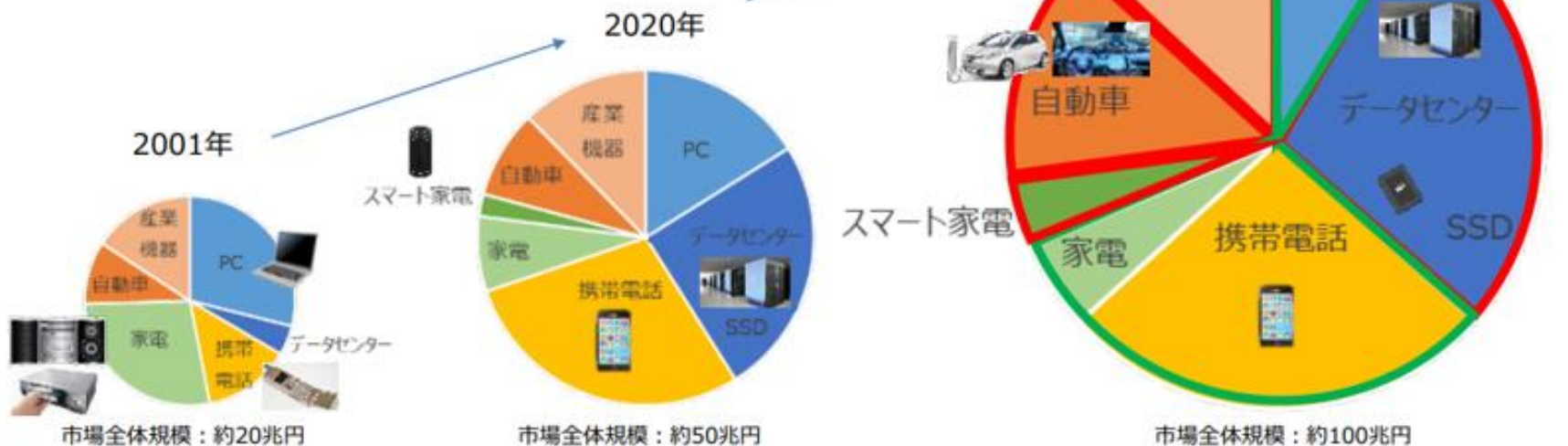
# 半導体市場の主要アプリケーション別成長性

- 日東紡グループのスペシャルガラスの用途はPC・携帯電話だけでなく、**データセンター・自動車・産業機器等**の半導体分野に拡大

【2030年までに100兆円を超える市場に成長する半導体産業】

## 世界半導体出荷動向を主要アプリケーションについて調査

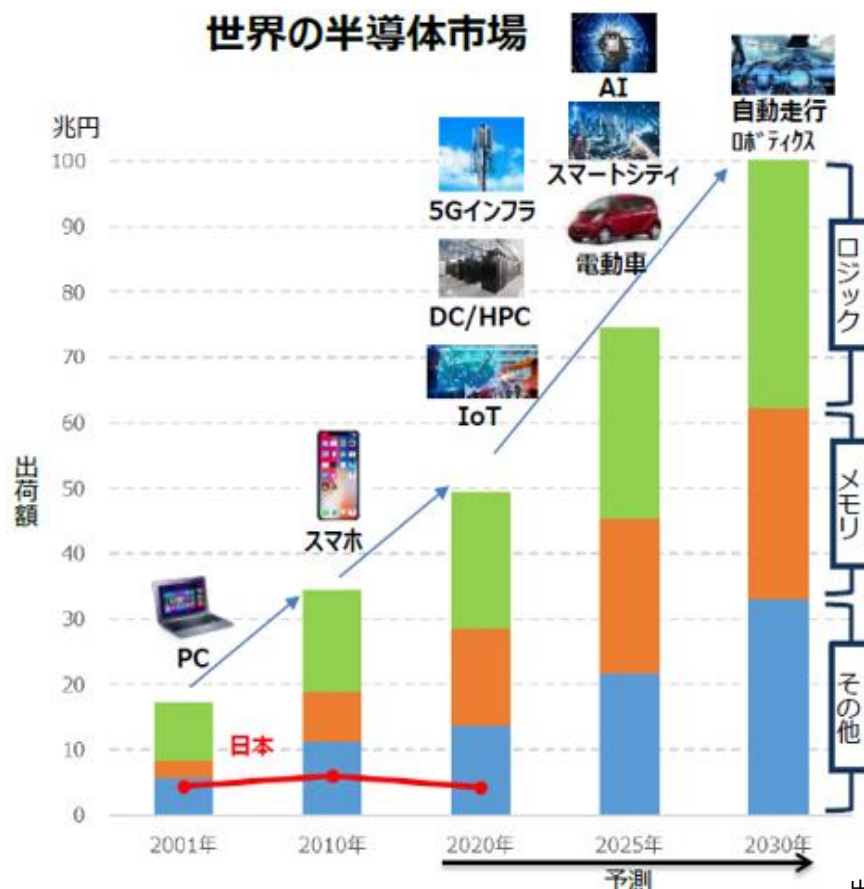
車載機器、産業機器は、これからコネクテッドが普及することで、新しいサービスの始まりとともに大きな成長が期待される。



出典：経済産業省 第4回半導体・デジタル産業戦略検討会議 2021年11月

- ロジック : CPU・GPUや、デジタル通信モジュール・自動車のSoC\*
- メモリ : 揮発性のDRAMと不揮発性のNAND

\* System on a chip システムを組み込んだ集積回路



	市場規模 2018年	製品例
ロジック (制御用)	21兆円	プロセッサ
		GPU
		SoC
メモリ (データ記憶用)	18兆円	DRAM
		NAND
その他	15兆円	アナログLSI
		パワー半導体
		イメージセンサ

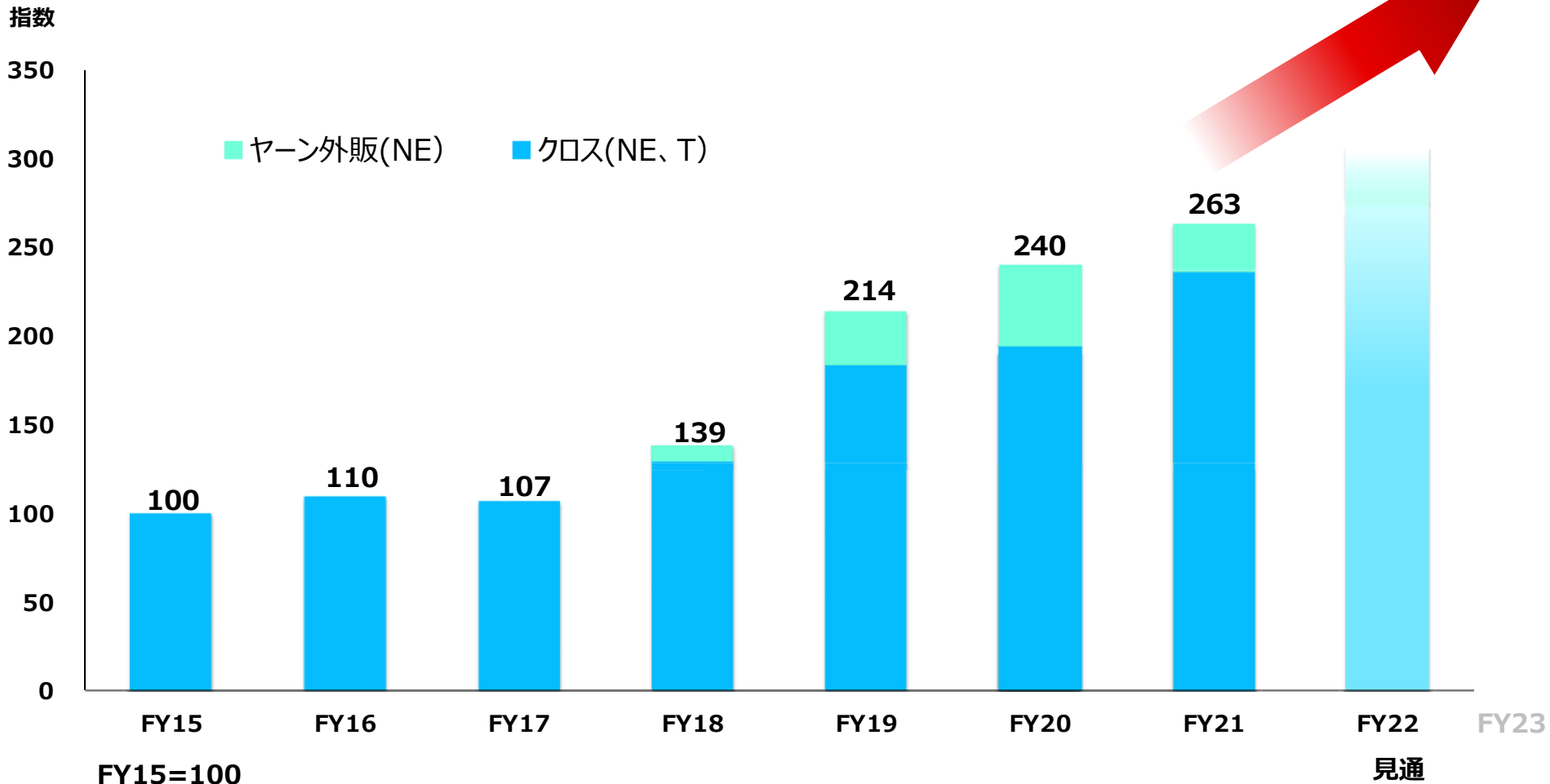
出典：経済産業省 第4回半導体・デジタル産業戦略検討会議 2021年11月より当社作成

# スペシャルガラスの半導体用途の広がり



		半導体パッケージ基板		マザーボード	アンテナ 部位
		CPU/GPU	メモリ		
通信 インフラ	データセンター・基地局 (サーバー、スイッチ、ルーター)	T	NE	NE/NER	
エッジ 機器	スマートウォッチ	SiPモジュール基板⇒ 超極薄E			
	スマートフォン	T	T	極薄E	極薄NE
	タブレット・モバイルPC	T	NE	E	
	デスクトップ・ノートPC	E	E	E	
自動車	電気自動車・ADAS	T	E	E	

# スペシャルガラス（NE・T）ヤーン・クロス 売上高推移（通期）



# メディカル事業（体外診断薬）：グローバル一貫生産体制

## グローバル・バリューチェーン

原料となる抗血清から体外診断用医薬品の最終製品に至るまで、  
開発—製造—販売の一貫体制をグローバルに構築



### ■ 抗血清の開発・製造・販売

ニットーボーアメリカ  
(カリフォルニア/アイオワ/メイン)

### ■ 体外診断薬の開発・製造・販売

ニットーボーメディカル  
(福島県郡山市)

### ■ 原料の研究開発



**Kamiya (ワシントン)**  
海外販売網

**フロンティア研究所（北海道石狩市）**  
大腸菌を利用した抗原開発

**FAN（東京都）**  
高感度ラテックス試薬開発

- 2021年10月、日東紡初のスペシャルガラス・ヤーンの海外生産工場が稼働開始
- 広大なスペースに、将来の溶融炉増設スペースを確保
- 連結子会社Baotek Industrial Materials Ltd.（台湾）にてスペシャルガラス・クロスまで海外で一貫生産体制を構築

## 【新工場の概要】

会社名： NITTOBO ASIA Glass Fiber Co., Ltd

所在地： 台湾嘉義縣民雄郷

延床面積： 約20,000m<sup>2</sup>（地上2階建）

将来の溶融炉増設スペースを確保した広大な敷地



# トピックス②：米国ヤギ抗血清の新工場完成

- 2022年10月、体外診断薬の原料となるヤギ抗血清を生産する米国子会社Nittobo America Inc.のカリフォルニア拠点に新工場完成
- 現在、米国3拠点（カリフォルニア州、アイオワ州、メイン州）にてヤギ抗血清を生産、安定供給体制を構築
- 新工場は増産スペースを確保しており、将来の需要を見ながら、生産能力の拡大が可能

## 【新工場の概要】

会社名：Nittobo America Incorporation

所在地：米国 Murrieta市

延床面積：約45,000sqft



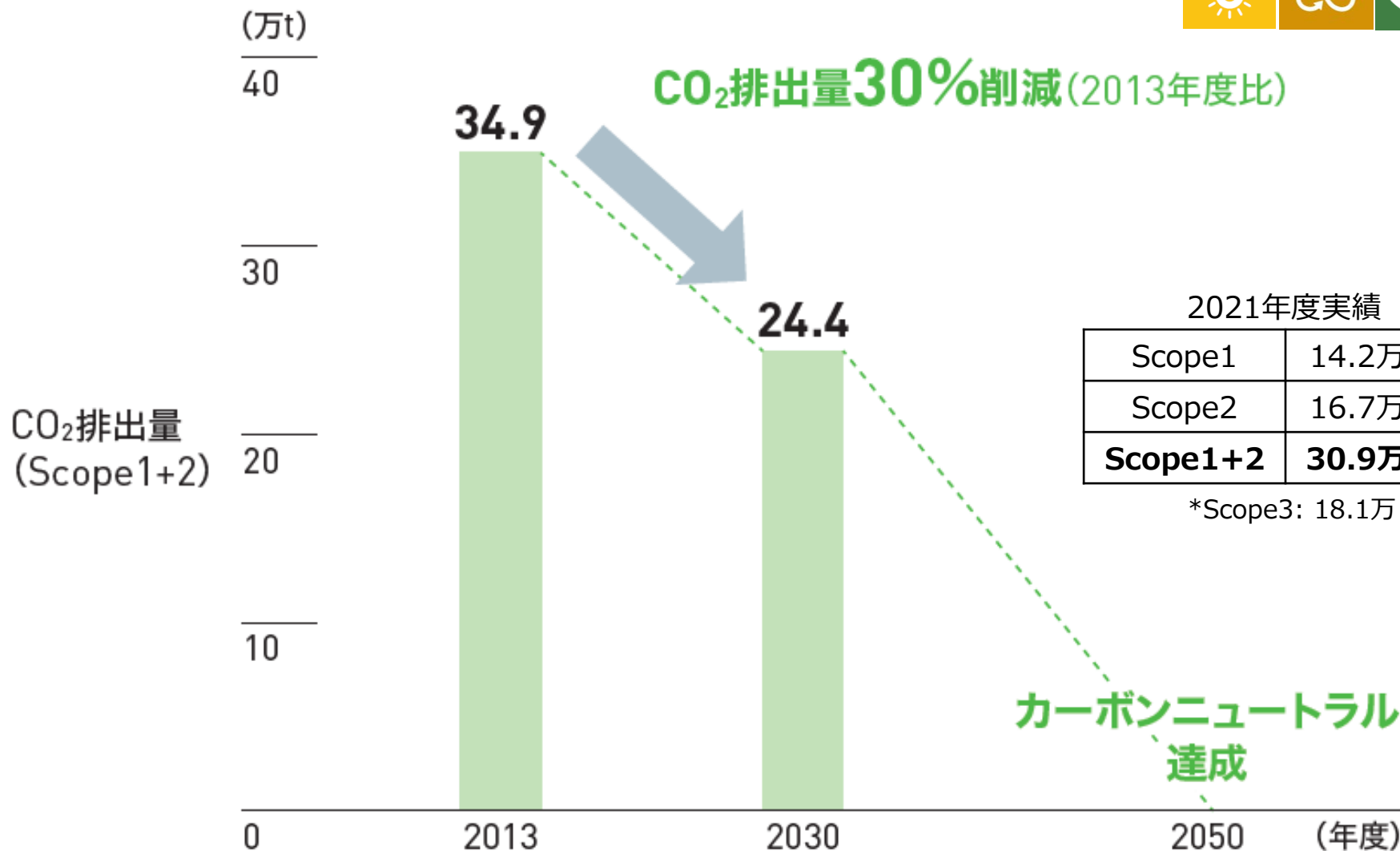
体外診断薬の原料となるヤギ抗血清の生産工場



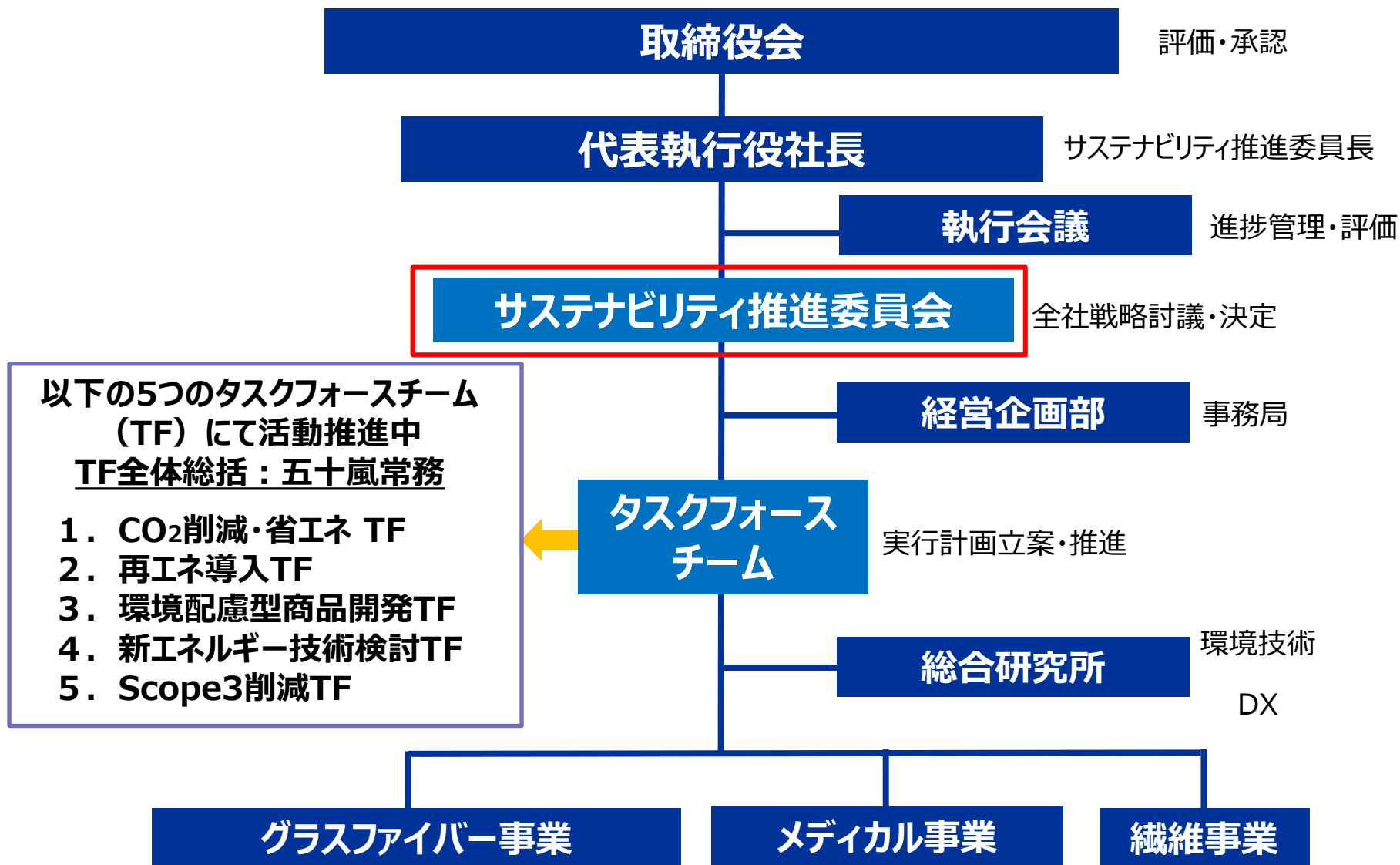


# 日東紡グループのサステナビリティ経営

# 日東紡グループのCO<sub>2</sub>排出量削減目標



# 2050年カーボンニュートラル達成に向けた推進体制





## ■ 2022年1月 パラマウント長沼工場において、太陽光発電システムを導入（年間発電量は623MWh/年、CO2排出削減効果は年間325トン）

＜パラマウント 長沼工場＞



2022年度は、富久山地区  
への導入を計画

項目	概要
導入形態	第三者型太陽光発電 (PPAモデル)
パネル 設置面積	2,802 m <sup>2</sup> (B倉庫+C倉庫 建築面積；約5,800 m <sup>2</sup> )
契約期間	20年間
年間発電量	623 MWh/年
CO2削減 効果	325 t-CO <sub>2</sub> /年

# リサイクルへの取り組み（グラスウール）



- ガラス瓶や蛍光灯に加え、建設現場で発生した端材等も回収し再利用



長沼、鈴鹿工場は広域認定制度を活用し回収。江別工場は産廃業者として回収

## ■ 地域美化活動



左：大森川堤防除草作業  
右：黒岩飛び地の美化



## ■ 教育支援活動



左：出張環境学習  
（福島工場）  
右：子ども科学教室  
（富久山事業センター）



## ■ 地域貢献



左：小学生登校時の  
正門前交通指導  
右：正門前グリーンベルト  
（富久山事業センター）



## 基本方針



- 技術革新や事業成長を創り出す基盤となる「イノベーション人財の育成」と、「ダイバーシティ&インクルージョンの推進」で従業員が生き生き働き、成果を出す組織風土の醸成を図り、「従業員エンゲージメント」を向上する

### イノベーション人財の育成

専門スキルの強化

- ・プロフェッショナル人財の育成
- ・次世代リーダーの育成
- ・グローバル人財の育成

### ダイバーシティ&インクルージョンの推進

男女・中途等を問わず多様な人財活用

<2030年 女性活躍目標>

- ・女性管理職（課長以上）比率10%
- ・女性管理職（係長相当職以上）比率20%を目指す

### 働き方改革（新しい働き方）

生産性向上と従業員QOL向上の両立

- ・ワークスタイル変革推進
- ・間接の生産性向上推進  
（RPA活用、ペーパーレス化、ハンコレス化）

## <従業員エンゲージメントの向上>

スコア指数 2019年 vs 2023年：30%以上改善

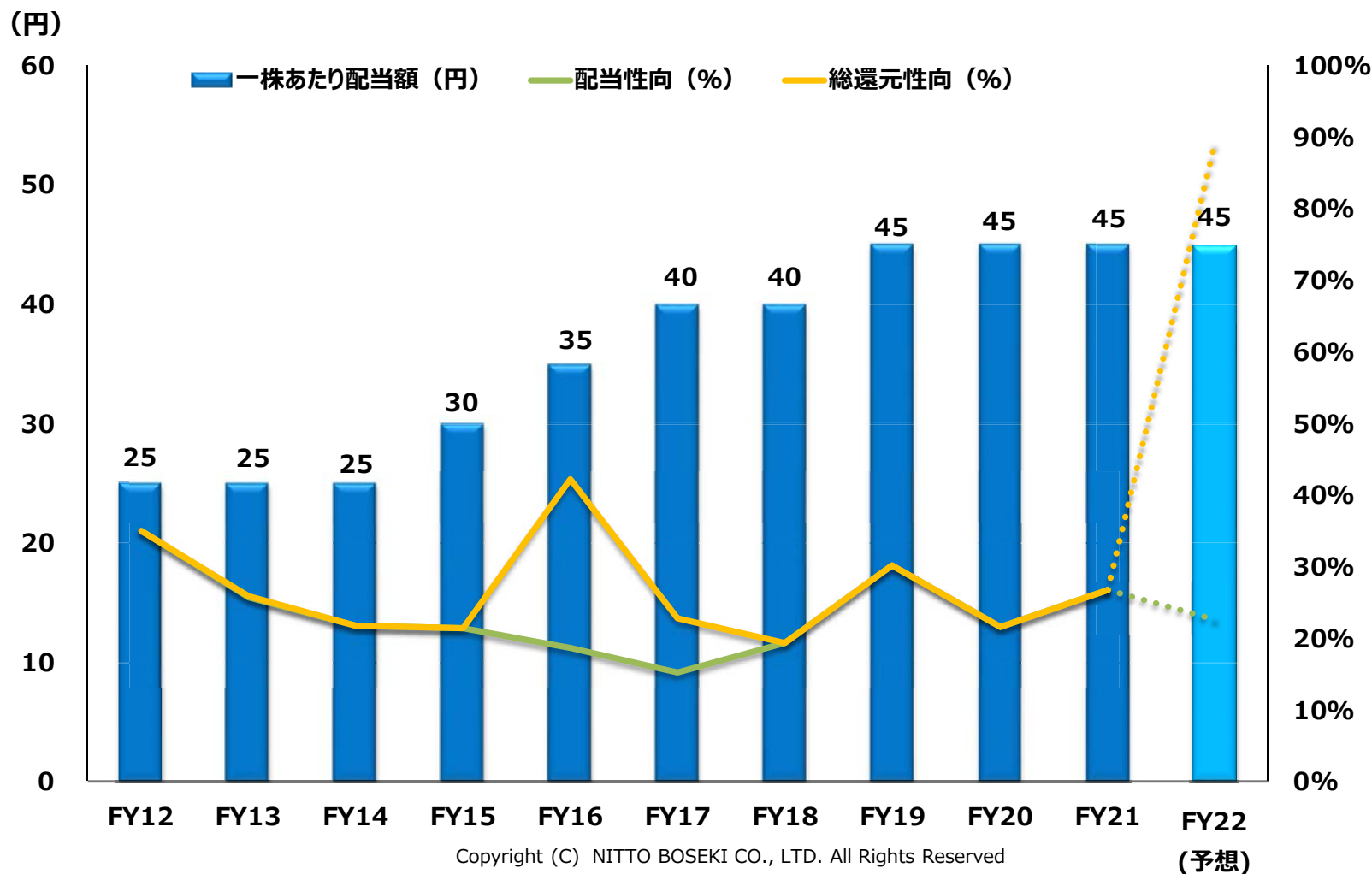
# 株主の皆様へ



# 日東紡・日経平均 株価指数推移 (2010年1月4日基準)



- 安定的な配当の成長を基本とした上で機動的・弾力的な株主還元を検討
- FY2022 中間配当金は1株当たり22.5円と決定（通期45.0円の予定）
- 自己株式取得（50億円）を含めた2022年度の総還元性向は89%



**日東紡グループは「健康・快適な生活文化を創造する」  
企業集団として社会的存在価値を高め、  
豊かな社会の実現に貢献し続けます**

**株主の皆様とともに、  
2030年にありたい姿『Big VISION 2030』  
グローバルニッチNo.1を目指します**

# 参考資料

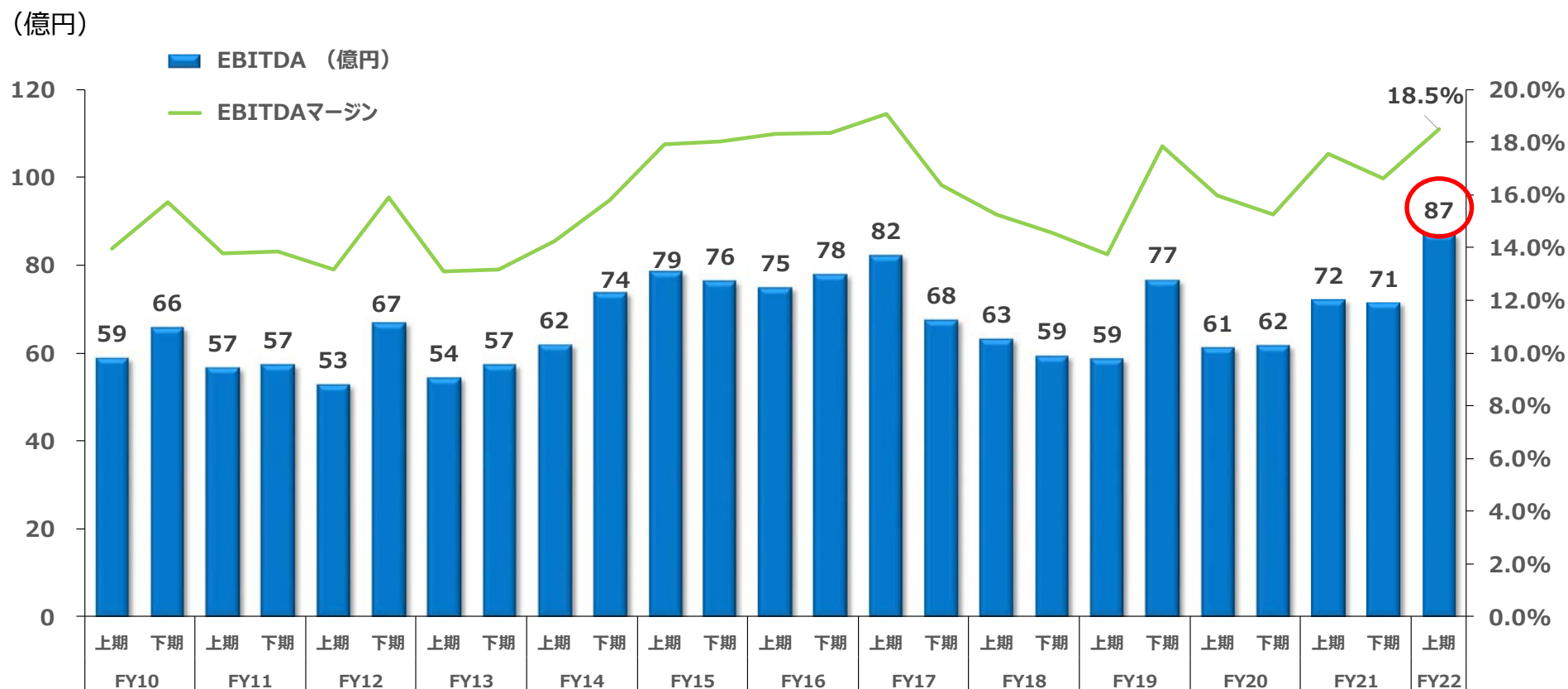
- 電子材料用ガラスファイバーなどの販売拡大、為替相場によるプラスの影響などもあり、前年同期比で増収増益

(単位：億円)

	FY2021			FY2022			上期増減	
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期		
売上高	205	206	411	238	232	470	60	14.5%
営業利益 (ROS%)	17 (8.3%)	22 (10.9%)	39 (9.6%)	26 (11.0%)	20 (8.5%)	46 (9.8%)	7	16.9%
EBITDA (EBITDAマージン)	33 (15.9%)	39 (19.2%)	72 (17.5%)	46 (19.5%)	41 (17.5%)	87 (18.5%)	15	20.8%
経常利益	16	23	39	36	26	62	23	59%
当期純利益	8	15	23	48	27	75	51	219.1%

# EBITDA・EBITDAマージンの推移（半期）

## ■ EBITDAは半期ベースで過去最高を更新



# FY2022 通期業績見通し

## ■ エネルギー価格高騰が利益押下げ要因となり、増収減益を見込む

(単位：億円)

	FY2021					FY2022					増減 (対前年) 年間
			上期	下期	年間			上期	下期	年間	
	1Q	2Q	実績	実績	実績	1Q	2Q	実績	見通	見通	
売上高	205	206	411	430	841	238	232	470	445	915	74
営業利益 (ROS%)	17 (8.3%)	22 (10.9%)	39 (9.6%)	33 (7.8%)	73 (8.6%)	26 (11.0%)	20 (8.5%)	46 (9.6%)	6 (1.4%)	52 (5.7%)	▲ 21
EBITDA (EBITDAマージン)	33 (15.9%)	39 (19.2%)	72 (17.5%)	71 (16.6%)	144 (17.1%)	46 (19.5%)	41 (17.5%)	87 (18.5%)	51 (11.4%)	138 (15.1%)	▲ 6
経常利益	16	23	39	42	81	36	26	62	4	66	▲ 15
当期純利益	8	15	23	42	65	48	27	75	0	75	10

# FY2022 セグメント別見通し（売上高）

（単位：億円）

	FY2021	FY2022					増減 (対前年) 年間	
		年間 実績			上期 実績	下期 見通		年間 見通
			1Q	2Q				
複合材・ヤーン	233	69	61	129	123	252	19	
機能材向けヤーン	100	30	28	58	55	113	13	
小計	333	99	88	188	177	365	32	
調整額	▲ 100	▲ 30	▲ 28	▲ 58	▲ 55	▲ 113	▲ 13	
原織材	233	69	61	129	123	252	19	
機能材	229	70	65	135	125	260	31	
設備材	184	46	52	98	102	200	16	
ライフサイエンス	159	45	46	91	79	170	11	
繊維	25	6	6	12	11	23	▲ 2	
その他・調整	9	3	2	5	5	10	1	
計	841	238	232	470	445	915	74	



# FY2022 セグメント別見通し（営業利益）

（単位：億円）

	FY2021 年間 実績	FY2022					増減 (対前年) 年間
				上期 実績	下期 見通	年間 見通	
		1Q	2Q				
原織材	17	4	▲ 1	4	▲ 20	▲ 16	▲ 33
機能材	31	14	13	27	18	45	14
設備材	3	▲ 0	1	1	▲ 2	▲ 1	▲ 4
ライフサイエンス	26	9	6	15	12	27	1
繊維	▲ 1	0	0	1	0	1	2
その他・調整	▲ 2	▲ 1	0	▲ 1	▲ 3	▲ 4	▲ 2
計 (ROS)	73 (9.6%)	26 (11.0%)	20 (8.5%)	46 (9.8%)	6 (1.4%)	52 (5.7%)	▲ 21

本資料に記載されている予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでいるため、将来の業績数値や施策の実現を確約・保証するものではありません。潜在的なリスクや不確実性等の業績に影響を与え得る要因については、経済情勢、需要動向、為替変動、燃料価格の変動、新型コロナウイルスの影響等が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本資料の無断の転載や二次利用をお断りいたします。